
つれづれそう
【徒然想】

社員の真の幸せを考える 経営者の覚悟

株式会社 Woman's
代表取締役 宮崎 結花



現在、弊社は、女性活躍推進や働き方改革を目指し、企業内キャリアコンサルティングに従事している。

「人が辞めないためには」「求める人が集まるには」「言われなくても自ら動く人を育てるには」等、「ひと」に関する事で頭をかかえる経営者が実に多い。人事評価制度を導入したものの、運用できていないというご相談も多い。高度成長期のようにものを作れば売れる時代が終わり、付加価値が求められる今、「ひと」の持つ力が企業存続のカギを握っているといっても過言ではない。

弊社のコンサルティングの特徴は、データを見て分析するだけではなく、実際に社員一人ひとりに向き合う。昨年4月から国家資格化されたキャリアコンサルティングという考え方と手法を使って、面談を行う。企業の「ひと」に関する課題が、赤裸々に浮かび上がる。課題に向き合う覚悟がある経営者からのご依頼になる。

この覚悟をされた経営者の思いは、社員への愛にあふれている。女性活躍推進にしる、働き方改革にしる、その目的は単に「利益を上げる」ではない。もちろん、利益を上げることは必要だが、それはあくまでもたらされる結果であり、真の目的は「社員に幸せになってもらいたい」という思いの実現である。経営者のこの思いが強ければ強いほど、コンサルティングはうまくいくと感じている。会社全体に改革への機運が高まるのを感じる。社員が経営者の本気さを感じた時、自分ごととして、取り組み始める。改革が加速化する。経営者と社員が見えない糸でしっかりつながり、同じ方向へ動き始めたとき、

今までの山積みされていた課題も解決し始める。不思議なものだ。今まで、メンタルヘルス不調の社員が何をしても減らなかった、どんな方策を施しても社員のモチベーションが上がらなかった、お金をかけて研修を受けさせても成果につながらなかった…それが、どんどん解決されていく。

人は、自分のことを本気で考えてくれていると感じた時、本能でそれに応えようとする。そして、会社が自分の幸せを本気で考えてくれていると感じた時、自分自身の会社での役割を本気で考え、自分ができることに喜びを感じて取り組むようになる。経営者と社員が一体になった姿を見ると、私の心は幸せで満ちあふれる。

女性活躍推進について最近感じていることは、「真のやりがいの追求」である。今までは、家庭と仕事の両立を会社がサポートする制度が主であった。ケアの充実に力を入れていた。しかし、それでは、やりがいを感じられず、会社が思うような成果を出せない女性も増えてきた。「仕事の量のミスマッチ」ではなく、「仕事の質のミスマッチ」が起きていると最近感じている。今、弊社が取り組んでいるのは、成果をきちんと評価し、報酬とリンクさせる人事評価制度の構築である。多様な働き方の中で社会通念的な子育て論にしばられない、一人ひとりの自己概念を尊重した人生の紡ぎ方を大切にしたいと考えている。

これからは、「ひと」の時代。一度きりの人生がすべての人にとって幸せであることを目指し、存続し続ける企業でありたい。